



学校長便り

150th 九度山小学校

7月号 NO.1

令和4年7月20日



夏休みが始まります！

夏休み 7/21~8/24

明日からみなさんが楽しみにしている夏休みです。35日あります。夏休みは、自由な時間がたくさんあります。自分で考え行動できる時間です。

みなさんの心の中で、「たい」は泳いでいますか。「たい」が泳いでいる「心」とは、「見たい」「知りたい」「聞きたい」「やってみたい」「はっきりさせたい」という心の動きのことです。そういう心を「主体的」と言います。

ただ、ぼうっと過ごしていると、夏休みはあっという間に過ぎてしまいます。心の「たい」を泳がせて、小学生時代の「今しかできないこと」「今だからできる何か」をしっかりと考え実行してみましょう。

夏休み前集会 学校長の話より



保護者の皆さまへ

明日から個人懇談会を予定しています。学校生活や学習状況についてお知らせするとともに家庭生活の様子等について伺うことができる大切な機会です。短い時間ですが、お子さんのこれからの成長につながる充実した時間とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

また、新型コロナウイルス新規感染者数が和歌山県においても連日高い水準となっています。ご家庭におきましても引き続き、感染防止にご協力いただきますようお願いいたします。

健康で楽しい夏休みになりますようお祈り申し上げます。

「子育て四訓」

乳児はしっかり	肌を離すな
幼児は肌を離せ	手を離すな
少年は手を離せ	目を離すな
青年は目を離せ	心を離すな

救命救急研修

水泳の授業が始まる前に、九度山保育所・幼稚園・小学校合同で、研修を行いました。一次救命処置を職員で行えるよう、実演による説明や動画を視聴し、実践練習をしました。AEDの使い方も実習しました。



子育ての心得として知られる『子育て四訓』です。小学校段階である少年期をみると、「手を離せ 目を離すな」となっています。お子さんが小学生に上がると、成長を喜びながらも「段々手が離れて寂しい。うれしい。」という声をよく聞きますが、まだまだ、お母さん、お父さんの出番はたくさんあります。

子どもの成長と共に親子関係、家族関係はどんどん変化していき、その長い子育ての過程の中で親子のコミュニケーションのポイントがこの四訓の中に凝縮されているような気がします。

では、子どもが悩んでいるときに何ができるのでしょうか。それは、「子どもと同じ立場で一緒に考え、応援すること」「一緒に考えてやってみよう」と寄り添うことではないでしょうか。

また、現在の子どもたちをみていると、時には、「しっかり手を握り、肌を合わせる」ことが必要なこともあります。「さびしい」思いをしている子どもには、時にはしっかりと手を握り、肌の温かさを感じさせてあげる時間が必要です。

『子育て四訓』の言葉では、乳児から青年になるまでに、「肌を離し」、「手を離し」、「目を離し」、最後は心だけが繋がっています。心だけが繋がったときに、本当の意味で子どもは自立できるのだと思います。

「心を離すな」とは、「信じているよ」「応援しているよ」と成長を後押しすること、頑張っていることを理解して心の支えであり続けることだと思います。

水難防止教室(5年生) 県青少年総合対策本部主催

水難事故に遭わないための心構えや水難時の対応、着衣による泳ぎ方等を教えていただきました。海に出かけたり川遊びをしたりするときは、水の事故に十分に気をつけましょう。



主な行事予定

- 8月 1日(月) 登校日
- 8月 4日(木) 5日(金) 南北交流(5・6年生)
- 8月 6日(土) 人権講演会
- 8月10日(水) 子ども議会
- 8月26日(金) PTA企画委員会(環境・保体部)
150周年実行委員会
- 9月 1日(木) くどやま森の童話館 大恐竜原画展
紙芝居屋ガンちゃん
- 9月17日(土) 環境整備作業
- 10月 1日(土) 秋季運動会

裏面にも写真を掲載しています

地域の皆さま、夏休み中の本校の子どもたちをどうぞ見守ってください。よろしくお願いいたします。

学校長便り

150th 九度山小学校
7月号 NO.2



南海電鉄出前授業(1年生)

動画を見たり、クイズに答えたりしながら、鉄道のルールやマナーについて学びました。7/16~8/15の間、橋本駅と林間田園都市駅において、子どもたちの学びの声を録音したマナー啓発放送を行います。



校外学習(4年生)

エコライフ紀北と伊都浄化センターを見学しました。エコライフ紀北では、ごみのゆくえやごみ問題、リサイクルの仕方について、学びました。

伊都浄化センターでは、使った後の汚れた水をきれいにし、川に流しているしくみについて学びました。実際に水がきれいになっている様子も見ることができました。たくさんの方の努力と工夫で私たちの生活が快適に保たれていることがわかりました。



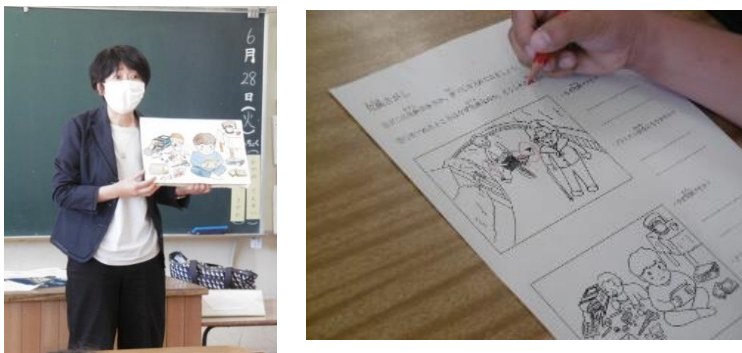
伊都食品衛生協会 手洗い教室(1・2年生) ↑

紙芝居や「あわあわ手あらいの歌」の視聴を通して、手洗いの大切さや、上手な洗い方について教えていただきました。その後、蛍光塗料を汚れに見立て、手洗いの練習をしました。「手には、ばいきんがついていることがわかった」「洗った後はつるつるになった」といった感想がありました。これからも手洗いをしっかりしていきます。

安全教室(2年生)

身近な日常生活の中での危険や安全な商品の選び方、遊び方などについて考え、自分の生活を振り返りながら学習しました。

これからも自分たちで安全な生活を心がけられるようにしたいです。



森林体験学習(5年生)

5年生では、環境学習を総合的な学習の時間に位置づけています。その一環として、紀の国緑育推進事業による森林体験学習を行いました。事前学習では、森林の役割や林業の仕事について学び、森林体験学習では、間伐体験や丸太切り体験をしました。森林資源の大切さや森の手入れの大変さを学ぶことができました。これからも環境について考えていきたいと思えます。



柿畑見学(3年生)

毎年お世話になっている中谷さんの柿畑を見学させていただきました。柿には、渋い柿の種なし柿、甘い柿の富有柿があることや、柿を収穫する期間、柿がつぼみから実になるまでどれくらいかかるか、柿作りで大変なことなど、いろいろ教えていただきました。また、おいしい柿をつくるために行う間引きの体験もさせていただきました。ありがとうございました。



梅ジュース作り(6年生)

和歌山の生産量、梅の栄養素、南高梅や世界農業遺産である「みなべ・田辺の梅システム」の特徴等について、学習しました。その後、梅ジュース作りをしました。

まず、梅のあくをとり、竹串でへたをとってから洗いました。その後フォークで果実に穴をあけ、容器に砂糖と梅を交互に入れていきました。

毎日、当番を決めて2週間容器を動かしました。梅ジュースができあがり、炭酸水や水と混ぜておいしくいただきました。

